

# その他の活動

## その他の活動 1

### JR西日本主催 「関西もっと知りたいDAY!」 での万博・大阪まちボランティア 活動PR

活動の理解を深めてもらうために  
トークショーに出演

JR西日本主催の地域との交流イベント。メイン会場の「JR大阪駅 時空(とき)の広場」では、ミャクミャクも登場するボランティアトークショーに出演。出展ブースでは来場者へ手作りの缶バッジをプレゼントするなど、万博と大阪まちボランティアのPR活動を行いました。



- 活動日/2025年7月5日(土)~6日(日)、7月12日(土)~13日(日)
- 活動場所/JR大阪駅 大阪ステーションシティ 5F「時空の広場」
- 活動内容/ステージでのボランティアトークショー、会場内ブースにおける活動PR、缶バッジ配布等
- 延べ活動人数/72人

## その他の活動 2

### 天保山客船ターミナル での万博PR

クルーズ客船で来阪された海外の方に  
万博の魅力を発信

大阪港に入港する客船のターミナルに、大阪まちボランティアブースを設置。クルーズ客船の外国籍乗降客を中心に万博のPR活動を行いました。



- 活動日/2025年8月20日(水)、21日(木)、27日(水)、9月1日(月)、2日(火)
- 活動場所/天保山 客船ターミナル1階 エントランスホール
- 活動内容/ブースにおける万博PR活動、缶バッジ・うちわ配付、記念撮影、万博会場へのアクセス案内など
- 延べ活動人数/39人

## その他の活動 3

### 大阪取引所 イベントでの万博PR

活動拠点の北浜駅から  
案内ブースを出張設置

日本取引所グループで働く東京と大阪の職員同士の交流会「JPX東西交流会」にて、万博のPRイベントが開催され、大阪まちボランティアのブースも設置。当日はミャクミャクなどのキャラクターの出演や万博のPR動画が会場で放映され、来場者を楽しませてくれました。



## その他の活動 4

### 大阪まちボランティア 高校生等体験プログラム

大人ボランティアと一緒に  
フレッシュな笑顔でお出迎え!

国際交流や多様性への理解を深めながら、高校生らが世代や国を超えた人々とともにボランティア活動を体験する取り組みを実施。新大阪駅では吉村大阪府知事も激励に訪れました。パネルを持ちながら、和やかなムードでゲストを迎えました。



- 活動日/2025年8月22日(金)
- 活動場所/大阪証券取引所ビル1階アトリウム
- 活動内容/会場内ブースにおける活動PR、ブースで万博関係のチラシ配布、万博に関する質問の個別対応、一般客の万博PRイベントへの誘導など
- 活動人数/7人



- 活動日/2025年7月25日(金)~28日(月)、8月1日(金)~3日(日)、5日(火)~9日(土)、18日(月)~20日(水)
- 活動場所/新大阪駅、関西国際空港、大阪駅
- 活動内容/ボランティアブースにおいて、国内外から大阪・関西に来られた方へのサポート(万博情報の案内、写真撮影、来阪記念うちわの提供など)
- 活動人数/279人

# ボランティアの交流

万博の会期前からボランティアセンターを設置してさまざまな取り組みを行い、ボランティア間の交流を促進しました。

## 交流 1

## 交流スペースの設置

### ボランティア同士の交流の場を開設

ボランティアの活動に役立つ冊子やパンフレットの設置、ボランティア同士の意見交換など自主的な交流を図っていただくために、交流スペースを設置しました。

●開設期間/2024年11月14日(木)~2025年10月11日(土)



## 交流 2

## 交流プログラムの開催

### 数多くの交流プログラムを開催

ボランティア活動に役立つ知識やスキルの習得、ボランティア間の交流を目的に、講師を招いたセミナーやワークショップなど多彩なプログラムを開催。また、ボランティア自身が提案したオリジナルテーマによる交流会や、各拠点での情報を共有し活動につなげるリーダー対象の交流会など自発的な活動を促すプログラムを開催しました。

●開催回数/128回 ●総参加人数/3,076人



### 〈主な交流プログラム〉会場:ボランティアセンター

## ①万博

- 万博の誕生から今、そして未来社会
- U29の万博のオススメの楽しみ方

## ②国際交流・多文化共生

- 世界のあいさつや文化を知ろう!伝えよう!交流しよう!
- 国際交流×折り紙に興味ある人、集まろう
- ホセッチから学ぼう!体感・異文化コミュニケーション!

## ③観光・おもてなし

- OSAKA・KANSAIの魅力と一緒に探ろう
- 知っておきたい!紹介したくなる今ドキOSAKA!
- 手作りギフトおもてなしギフト講座
- エリア別ボランティア活動交流会

## ④ボランティア自主企画

- オリジナルテーマで交流しよう!ボランティア交流会!
- ・国際交流へ一歩を気軽に踏み出そう~やさしい日本語やアプリを使った案内~
- ・大阪まちボランティア活動の【イロハ】を知ろう!
- ~これから始める活動を楽しむヒント~

## ⑤リーダー

- ”テーマ”から考えるリーダー活動
- ボランティアメンバーがモチベーションUPするリーダー活動を考えよう
- メンバーから喜ばれる・慕われるリーダーの役割とは?

## ⑥その他

- U29大集合!ボランティア交流会
- まちボラの楽しみ方を情報交換しよう!!

## 交流 3

## メッセージウォール

### ボランティアが活動での楽しい出来事や活動への想いを寄せ書き

誰でも思い思いのメッセージを書き残せる「メッセージウォール」を設置。それぞれの「楽しい出来事や活動への想い」などたくさんの方のメッセージが寄せられました。

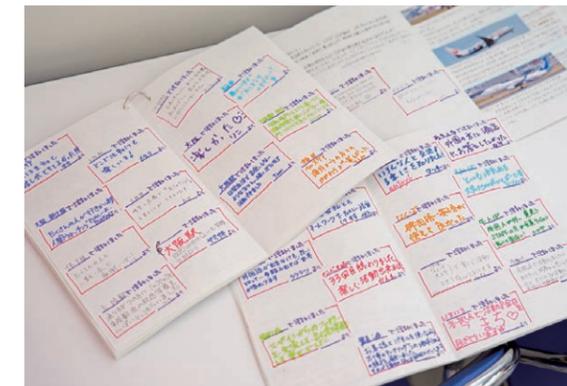


## 交流 4

## ボランティア活動交換ノート

### 各拠点間で情報や想いを交換できるノートを設置

拠点ごとのノートを設置し、各拠点での活動に役立つ情報や活動後の感想など、さまざまな情報交換が行われました。



## 交流 5

## ボランティア情報等 発信ミニイベント

### 今後のボランティア活動に活かせる 情報発信イベントを実施

2025年9月19日(金)、24日(水)、10月4日(土)の3日間にて開催し、16の団体が情報発信や相談のためのブースを設置しました。

●参加人数/427人 ●参加団体/大阪ボランティア協会、大阪マラソン組織委員会事務局、大阪国際交流センターなど16団体



# 活動の歩み

2025年4月13日(日)の開幕に向けて、さまざまな準備や取り組みを行ってきました。ボランティアの募集、面談、研修からはじまり、閉幕までの歩みを振り返ります。



## これまでの活動の歩み

<b>2024年1月26日(金)</b>	ボランティア募集を開始 「大阪・関西万博ボランティアセンター」がオープン 記者発表会	<b>2025年3月30日(日)</b>	団結式
<b>2月11日(日)~</b>	商業施設等のボランティア募集説明会の開始	<b>4月5日(土)・6日(日)</b>	万博会場内のテストランに参加
<b>4月22日(月)</b>	ユニフォーム発表会	<b>4月13日(日)</b>	大阪・関西万博が開幕 各拠点でのボランティア活動を開始 ※天王寺は5月1日(木)~
<b>4月30日(火)</b>	応募締め切り	<b>9月~10月</b>	ボランティアセンターでの 情報等発信イベントの開催
<b>6月~9月</b>	面談期間	<b>10月13日(月・祝)</b>	大阪・関西万博が閉幕
<b>10月~</b>	研修の開始	<b>11月15日(土)</b>	感謝状贈呈式
<b>11月~</b>	交流プログラムの開始		

# 活動準備

## ボランティア募集開始

### WEB、印刷物などさまざまな媒体で告知

ボランティアの募集にあたって2023年12月20日(水)に専用ホームページを開設し、2024年1月26日(金)から同年4月30日(火)まで募集を行いました。交通広告やサイネージ、自治体関連施設等でのリーフレット配架やポスターの掲示、WEBバナーや動画配信など、幅広い世代に情報が届くよう博覧会協会とともにPRを行いました。



募集サイト



告知リーフレット

## ボランティアセンターの設置

### ボランティア活動のサポート拠点

2024年1月26日(金)、ボランティアの募集開始にあたって、応募や活動の相談窓口、研修、面談、交流スペースとしても活用するボランティアセンターを開設しました。



- 所在地/大阪府大阪市中央区船場中央1丁目3番 船場センタービル2号館(地下1階)
- 開設期間/2024年1月26日(金)~2025年10月11日(土)※10月17日~12月10日はサポート窓口として開設 ●総利用者数/20,758人

## 記者発表会

### メディアを通じてボランティアの募集をPR

ボランティア募集開始当日の2024年1月26日(金)、ボランティア応募登録の機運を高めるために、記者発表会をボランティアセンターにて実施しました。ミャクミャクも登場し、吉村大阪府知事と石毛博覧会協会事務総長がボランティアセンターの看板除幕セレモニーを行い、大学生2名と留学生1名が大阪・関西万博とボランティア活動に期待するメッセージを述べました。



## ボランティア募集説明会

### 幅広い世代からの応募を促すためにさまざまな施設で実施

商業施設や大学施設、ボランティアセンターなどで説明会を博覧会協会とともに計170回実施し、大型商業施設ではトークショーやミャクミャク出演などのイベントを交えながら説明会を開催。また、大学やボランティア団体などへの出張説明会も行うなど、ボランティア活動の魅力を幅広い世代に向けてPRしました。



## 活動準備

### ユニフォーム発表会

#### スペシャルゲストも参加してお披露目

2024年4月22日(月)グランフロント大阪にて、「大阪まちボランティア」「会場ボランティア」のユニフォームの発表を博覧会協会とともに行いました。発表会には多くのメディアも参加。俳優の黒谷友香さんとNMB48の3名(佐月愛果さん、坂下真心さん、青原和花さん)らが着用し、お披露目を行いました。



### ボランティア登録人数の拡充

#### 応募者多数により登録人数を拡充

2024年4月30日(火)に募集を締め切り、応募が21,444人と募集人数を大幅に上回ったことから、できるだけ多くの方に活動に参加してもらえるよう登録人数を16,000人に拡充しました。

### 面談

#### 当選された応募者と一人一人面談

ボランティアセンターにて、2024年6月28日(金)～同年9月30日(月)の間、応募者との対面による面談を博覧会協会とともに実施。オリエンテーションやグループアクティビティ、個別面談(応募内容の確認・ユニフォームサイズチェック・郵送応募者の写真撮影等)のほか、希望者へは個別相談(配慮が必要な事項の確認など)を実施しました。



### 研修

#### 受講しやすいようにオンライン形式で実施

2024年10月から活動に向けた下記の研修を実施。ボランティアの利便性向上のため、会場ボランティアと共通する部分は統一したコンテンツとし、研修は参加者が自由な時間に受講できるようオンラインで実施。2025年4月5日・6日には万博を疑似体験し、開幕後の活動に活かせるよう、博覧会協会が実施したテストランにも参加しました。

- ①基本研修 …万博の概要や接遇・マナーなどボランティアに必要な基礎知識の学習
- ②配置別研修 …各活動場所において必要となる知識の学習
- ③リーダー研修 …リーダーシップを発揮するために必要な心構えなどの学習
- ④トリア研修 …万博の歴史や豆知識、大阪・関西を中心とした観光情報などの知識の学習



### 団結式

#### 開幕に向けて一致団結

2025年3月30日(日)、大阪府咲洲庁舎50階迎賓会議室にて、「大阪・関西万博ボランティア団結式」を開催しました。当日は吉村大阪府知事、横山大阪市長、石毛博覧会協会事務総長が出席し、ボランティア代表者4名による抱負も述べました。最後はマイクミyakを交えて記念撮影を行い、開幕へ向けて結束を高めました。



## 活動準備

### 提供物

視認性や実用性を考慮したオリジナルユニフォームで活動

幅広い世代の方が参加されることなどを踏まえ、どなたでも着こなせるデザインに。背面には、声をかけていただきやすいよう、「VOLUNTEER」の文字を入れるなど、万博の顔として「おもてなし」いただきやすい工夫を凝らしました。真夏での活動も考慮し、暑さ対策の帽子とマイボトルなどを携帯できるようにポシェットを用意。

SDGsの目標の一つである「パートナーシップで目標を達成しよう」のカラーであり、人と人をつなぐボランティアにふさわしいネイビーをベースに、まちなかでも活動が目につきやすいよう視認性の高いイエローを用いたカラーリングとしました。



《活動グッズ》  
Tシャツ、ベスト、帽子、ポシェット、公式マップ、ハンドブック、ボランティア証、ボランティア証ケース

### 案内ツール

主要駅や空港でさまざまなツールを使ってお出迎え

各活動拠点ではバックパネルや手持ちパネル、SNS風パネルなどを使って、ゲストを笑顔で歓迎。記念撮影のリクエストにも数多く対応しました。



## 閉幕

### 閉幕に向けた取り組み

カウントダウンや寄せ書きなど各拠点でさまざまな取り組みを実施

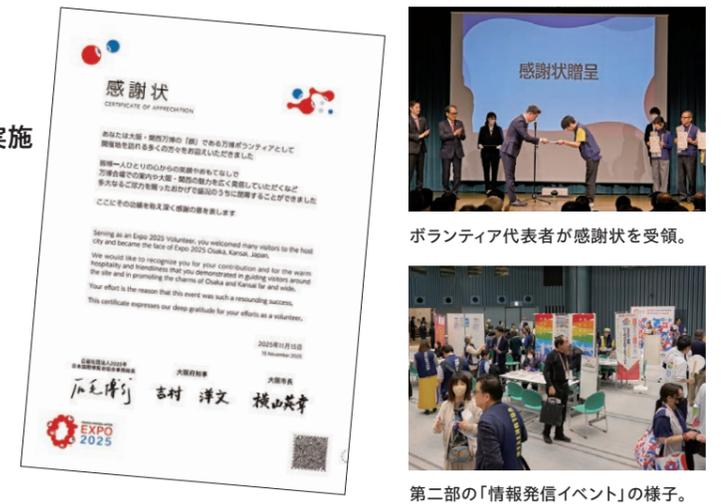
各活動拠点では、「スケッチブックカウントダウン」「アンケートボードの設置」など、閉幕に向けた来訪者との接点や話題の創出を目的とした取り組みを行いました。「バックパネル」にボランティアが活動を振り返ってのメッセージを記入。閉幕日は、駅・空港の8拠点をオンラインで繋ぎ合同終礼を実施し、ボランティア活動の感想や思い出、仲間への思いを共有しました。



### 感謝状贈呈式

感謝の言葉を伝え今後の活動につながるようイベントを実施

2025年11月15日(土)、オーバルホール(大阪市北区)にて、感謝状贈呈式を開催。吉村大阪府知事、横山大阪市長、石毛博覧会協会事務総長が登場して、感謝の言葉を述べ、ボランティア代表者へ感謝状を手渡しました。ボランティア代表者からも感謝の言葉が述べられました。また、第二部では「ボランティア情報発信イベント」を開催。ボランティア団体など17団体が出展し、ボランティア等の情報発信を行いました。



# ボランティア活動に関するアンケート

大阪まちボランティアのみなさんに、ボランティア活動への参加理由や活動後の受け止め、活動への満足度等に関するアンケートを実施しました。

回答者数:3,511人

実施時期:2025年10月9日(木)~10月26日(日)

実施方法:ボランティア専用ページのアンケート機能により質問・回答

## Q1 大阪まちボランティアに参加した理由を教えてください。

項目	選択肢								参加していない
	当てはまる		やや当てはまる		あまり当てはまらない		当てはまらない		
	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	
大阪・関西万博に関わりたかったから	92.0%	3,229	6.7%	236	0.7%	26	0.6%	20	
一生に一度の経験だと考えたから	85.9%	3,017	10.7%	374	2.5%	88	0.9%	32	
新しく出会う人々と交流したかったから	48.0%	1,685	35.6%	1,250	13.6%	479	2.8%	97	
日本、海外からのお客様をお迎えしたいから	59.5%	2,090	30.6%	1,076	8.0%	280	1.9%	65	
大阪・関西や地域の魅力を発信したかったから	43.0%	1,508	36.3%	1,276	17.1%	602	3.6%	125	
語学など培ったスキルを発揮したいから	27.3%	960	24.9%	875	27.4%	961	20.4%	715	
コミュニケーション力を高めたいから	34.1%	1,198	37.9%	1,329	21.3%	748	6.7%	236	

## Q2 活動後の受け止めについてお伺いします。

項目	選択肢							
	当てはまる		やや当てはまる		あまり当てはまらない		当てはまらない	
	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
大阪・関西万博に関われたと感ることができた	81.0%	2,844	16.3%	572	2.4%	85	0.3%	10
一生に一度の経験ができた	83.2%	2,920	12.8%	449	3.4%	118	0.7%	24
新しく出会う人々と交流することができた	62.4%	2,192	28.6%	1,003	7.2%	253	1.8%	63
日本、海外からのお客様をお迎えすることができた	54.9%	1,929	33.7%	1,184	9.0%	315	2.4%	83
大阪・関西や地域の魅力を発信することができた	34.3%	1,203	38.1%	1,339	23.0%	807	4.6%	162
語学など培ったスキルを発揮することができた	22.8%	801	31.4%	1,104	27.8%	977	17.9%	629
コミュニケーション力を高めることができた	38.6%	1,354	40.7%	1,429	16.7%	588	4.0%	140

## Q3 大阪まちボランティア活動の満足度をお伺いします。

項目	選択肢								
	非常に満足している		やや満足している		あまり満足していない		満足していない		参加していない
	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	
大阪まちボランティア活動全体について	57.9%	2,033	34.7%	1,217	6.3%	221	1.1%	40	
来訪者との交流について	43.1%	1,512	45.4%	1,593	10.2%	357	1.4%	49	
外国の方との交流について	29.8%	1,046	47.7%	1,673	18.9%	664	3.6%	128	
ボランティア同士の交流について	38.5%	1,353	47.4%	1,664	11.9%	418	2.2%	76	
大阪ヘルスケアパビリオンでの活動について(活動実績がある方のみ)	50.6%	1,540	36.0%	1,095	10.1%	308	3.2%	98	470
リーダーの活動について(活動実績がある方のみ)	55.1%	307	27.8%	155	8.3%	46	8.8%	49	2,954
ボランティアセンターでの交流プログラムについて(参加実績がある方のみ)	34.8%	357	45.2%	464	15.0%	154	5.1%	52	2,484

## Q4 満足している理由の例

- 外国からの観光客の方々と楽しくコミュニケーションが取れたり、関西圏以外からの観光客の方々からの質問に対していろいろな提案ができ、感謝されたことに、大変嬉しく思い、やりがいを感じました。
- 一生に一度の貴重な体験をすることができました。ボランティア活動することで万博がもっと身近に感じ、より楽しむことができました。
- 参加したプログラムが海外の方とのコミュニケーションを取る際に気をつけたい文化の違いなど基本的な心構えを教えていただいたのが非常に役立った。
- 職場でうまくいかない状況でもありましたが、ボランティア活動することで、正社員時代の語学を活かせ、また、他のボランティアの人と協力して活動を行うなかで、前向きになれました。

- 会場ボランティアにはない、活動グッズを用意して下さったり、拠点を盛り上げるために、ミャクミャクの折り紙の折り方を教えて下さったり…そのことが、お客様に喜んでいただくこととなり、こちらとしても嬉しかったです。
- スタッフやボランティア仲間、関西の方々の温かくてフレンドリーな人柄に触れることができてとても楽しかった。
- 最初は緊張していて、何事もきちんとしなければと思っていたのですが、スタッフの方が皆さん親切で優しくて、心地よい空間が作られ、気負わず参加することができました。

## Q5 満足していない理由の例

- 会後半は予約がいっぱいでシフトに入れず、もっと参加したかった。
- 万博の魅力を伝えられると思っていたのですが、実際は道案内が多かった。



## Q6 大阪まちボランティア以外のボランティア活動への参加について、大阪まちボランティア活動参加前の状況を教えてください

項目	選択肢							
	積極的に参加してきた		時間やきっかけがあれば参加してきた		あまり参加しなかった		参加しなかった	
	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
活動参加前の意識	16.1%	564	32.9%	1,154	18.3%	642	32.8%	1,151

## Q7 大阪まちボランティア以外のボランティア活動への参加について、大阪まちボランティア活動参加後(現在)の考えを教えてください

項目	選択肢							
	積極的に参加したい		時間やきっかけがあれば参加したい		あまり参加したいと思わない		参加したくない	
	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数
活動参加後の意識	25.2%	885	55.7%	1,955	10.0%	352	9.1%	319

## Q8 活動参加前の状況と参加後の考えが変化した理由例

- 人生初めてのボランティア活動を通じて、人付き合いが苦手な私にもたくさんの方々との出会いや交流を持てたことが嬉しかったから。
- ボランティア活動は人のためとばかり思っていたが自分のためにもなると、楽しさを味わえた。
- 普段接することがないタイプの方と交流をもてたり、仕事では味わえない体験や価値があるから。
- ボランティアを難しく思っていたが、自分のできる範囲で、楽しくボランティアできると考えが変わった。
- ニュースや街の出来事や取り組みへのアンテナの感度があがり、視野が広がったりして、楽しさが増しました。

## Q9 活動参加前の状況と参加後の考えが変化しなかった理由例

- 時間的な余裕がないから。

## Q10 大阪まちボランティアへの参加をきっかけに積極的に取り組むようになった、又は取り組みたいと思うようになったことはありますか？(複数回答可)

項目	割合	人数
様々なボランティアや地域活動に参加すること	60.5%	2,124
配慮が必要な方が困っている場合にお声がけすること	57.8%	2,031
外国の方が困っている場合にお声がけすること	47.2%	1,658
大阪・関西や地域の魅力について理解を深めること	39.4%	1,385

## Q11 ボランティア活動に関して、興味のある分野を選択してください。(複数回答可)

項目	割合	人数
地域活性・まちづくり・観光	74.6%	2,619
多文化共生・国際協力	54.1%	1,901
文化・芸術	47.1%	1,652
子ども・教育	38.1%	1,336
災害救援・地域安全活動	30.6%	1,076

項目	割合	人数
環境・動物愛護	21.3%	747
医療・福祉・人権	26.1%	918
スポーツ	42.8%	1,503
その他	1.9%	68
特になし	1.7%	58

# 大阪まちボランティアに寄せて

## 世代を超えた交流が実現 この一つ一つの貴重なつながりを 万博のレガシーに

大阪公立大学  
現代システム科学研究科 教授  
ボランティア・市民活動センター  
(V-station)センター長  
大塚 耕司



まず、活動期間半年間(募集開始から数えると約1年10ヶ月間)、延べ活動人数約77,000人、案内件数約350,000件という、超大規模ボランティア活動の企画・運営・実施にあたられたスタッフの方々、ボランティアの方々により敬意を表します。本当にお疲れさまでした。

この大阪まちボランティアでは、できるだけ多くの人たちが気軽に参加できるようにとのコンセプトのもと、特別なスキルは求めず、好きな場所・時間を自分でエントリーする方式を取り入れ、また車椅子利用者への移動支援や聴覚障がい者に対する手話通訳者の派遣なども行われました。このようなさまざまな工夫の甲斐あってか、ボランティア参加者の年齢層は、10代と30代でやや低いものの、20代から70代以上までまんべんなく分布し、過去の万博やオリンピック・パラリンピックで見られた若年層が少ないという傾向と全く違った結果となりました。このことは、ボランティアメンバー間での世代を超えた交流につながったと思います。

今回の大阪まちボランティアのもう一つの大きなコンセプトは、活動をととして人と人のつながりを育むことでした。特にボランティアメンバー間の交流を重視し、ボランティアセンターには交流スペースが設けられました。万博会期前から会期中に渡り、多数の交流イベントが実施されたほか、ノートを通じて各拠点間での情報や想いが交換できるような工夫もされました。ボランティアへのアンケート調査で「新しく出会う人々と交流することができた」と答えた人が、参加時点で期待していたよりずっと多かったことが、その成果をよく表しています。私自身、ならば駅拠点、新大阪駅拠点、ボランティアセンターでの活動を見せてもらったときに一番印象に残ったことが、スタッフとボランティア、ボランティアメンバーどうしが、本当に楽しそうに和気あいあいと話し合い、活動に励んでいる姿でした。このつながりが今後も継承され、さらに新たなつながりへと発展していくことが、ボランティア文化という面での万博のレガシーになるものと期待しています。

# 大阪まちボランティアからの ひとことメッセージ



初めてのボランティアで不安でしたが、みなさん優しく、面白くて…。たくさんの方と交流できて楽しかったです!! 一生の思い出です。

たくさんの人と出あって、たくさん笑顔もらいましたよ♪ みなさんとまたどこかでお会いできますように。

ボランティア初めてでしたが、良いスタッフばかりで、楽しく活動をさせてもらいました。

世界各国の人々に出会えて、ワクワク、ドキドキでした♡

まちボラ本当に楽しいです。こんな素敵なチャンスを与えていただき感謝です!



ボランティアはする人もされる人も幸せ♡

ボランティアなら海外の人とも気軽に声掛けできるので良いですわ~。

今まであまり会話することがなかった年代の方々と交流することができたのは楽しかった。

関空で思いかけず、ミヤクミヤクとツーショットができました。

このような貴重な体験ができるのも運営スタッフみなさまのおかげです。いつも私たちを支えていただいております。ありがとうございます!

応募締切5分前に思い切って登録しました。あの日の思い切った私を褒めてあげたいです。笑

フランスの方やイタリアの方、アフリカから来られた方などなど…、いっぱい話しました。言葉の壁はアプリでクリア!? 人間同士は話せば分かる!

人生初めてのボランティアが、万博のボランティアであったことは本当に Lucky! でした。

70年万博の楽しかった話を聞いて、応募しました。たくさんのお会いがあって、とっても楽しかったです!

万博という大きいイベントでボランティアができて幸せです! いろいろな人たちと出会い刺激もいっぱい、これからもたくさんの方に挑戦していきたいです。

ボランティアに目覚めました。この様なチャンスを与えてありがとう。



ボランティアでの出会い。人生の種になりました。

ボランティアを通して学べたことは、自身のレガシーにかえて、未来に向けてさらに進化していきます!

まちボラとっても楽しい。万博が終わるの寂しい。みんなありがとう!!

若い人達の積極的なボランティア活動の話が聞いて元気をもらいました。

笑顔で活動すると、気持ちも晴れやかになります。そんな風に、楽しく活動できて幸せでした。

毎回涙が出るくらい最高の体験、経験をさせていただきました。「あなた達がいってくれて良かった!」「あなた達の笑顔に癒される」と言っていた事は一生忘れません!

思い切って参加したボランティア♡人生初めての経験をたくさんできました! 楽しかったです。ありがとうございました。

